

新基地建設反対名護共同センターニュース

辺野古訴訟で知事 国交相裁決の違法性訴え



城岳公園での知事激励会で手を取り合って頑張ろうと誓う、オール沖縄の人々。左から4人目がデニー知事。



県が行った辺野古埋め立て承認撤回を国土交通省が取り消した裁決の違法性を問う行政訴訟の第1回口頭弁論が26日、那覇地裁で開かれました。玉城デニー知事が陳述し、「工事強行は法令に違反し、民主主義と地方自治を破壊する。裁判所は地方自治の理念を実現するために正しい判断をすることを希望する」と訴え、傍聴席から拍手が起きました。

公判前にオール沖縄会議主催で「知事激励会」が開かれ約100人の市民が参加。高里鈴代共同代表や渡久地修訪米団長・県議、瀬長和男県統一連事務局長らが「デニー知事を支え、不屈に闘おう！」などと訴えました。

「工事強行は法と民主主義、地方自治破壊」
激励集会で知事支え不屈に闘おう！

「国民を守るのは軍備ではない」

7人委員会、ゲート前で市民を激励

「世界平和アピール7人委員会」のうち4委員が21日、辺野古ゲート前で新基地反対で座り込む市民を激励。写真家の大石芳野さんは「国民を守るのは軍備ではない」。慶応大名誉教授の小沼通二さんは「ベルリンの壁もなくなったように世界が変わらないことはない。この（基地の）フェンスも必ずなくなる」と語り、名古屋大学名誉教授の池内了さんも発言しました。

「辺野古は、沖縄の問題でなく地球の問題」

作曲家の池辺晋一郎さんは、「辺野古の問題は、沖縄の問題でも日本の問題でもなく、地球の問題だ」と話し、新基地反対の運動は国際的意義を持つことを強調しました。

同7人委員会は同日夜那覇市内でのシンポジウムを主催。平和構築に逆行し、辺野古新基地建設を強行する日本政府の姿勢を厳しく批判し、反対運動の継続を訴えました。



↑テント村で挨拶する右から池内、小沼、大石、池辺の各氏。
←ゲート前で抗議行動を激励する池辺氏（手前）

宮崎退職教 平和丸から現場で抗議

宮崎県の小中学校退職教員のみなさんが26日、辺野古漁港から平和丸に乗船、護岸工事現場で「違法工事は中止せよ」とシュプレヒコールを上げ抗議しました。途中、ウミガメが



さまよっている姿（写真下）を何度も発見、悲鳴が上がりました。



手を繋ごう平和への一歩!!
—「障がい者週刊」企画—

第3回 後援・オール沖縄会議

障がい者辺野古のつどい

戦争のための新基地はいらない!

販売中です!

'20年 森住卓カレンダー

例年好評の写真家森住卓さんのやんばる写真のカレンダーを販売中です。頒価1,100円です。(送料込) お申し込みは名護共同センターへ(本ニュース最上欄ご参照)



- 日時 12月7日(土) 13時~15時
- 場所 辺野古ゲート前テント村
- ※第1土曜日の県民大行動終了後
- 主催 第3回辺野古障がい者をつどい実行委員会
- 後援 オール沖縄会議
- プログラム
 - ★開会のあいさつ
 - ★来賓・連帯のあいさつ
 - ★たまたかの現状報告
 - ★メッセージ紹介
 - ★リレートーク
 - ★文化行事
 - 川口真由美(歌手)
 - 右田隆(一人芝居)
 - ★アピールの採択
 - ★閉会・フィナーレ